

図書館電算システム再構築事業

1. 背景と課題

①運営上、システムの安定稼働が必要

- ・更新時期の到来
- ・サーバー停止など業務に障害をきたしている
- ・ネット予約の急増(予想値1.6倍をすでに超過)→システムを圧迫

②利用者アンケートと全国のトレンドへの対応

- ・図書検索システムの機能向上(民間のシステム並みのスピード、わかりやすさ、簡易性)
- ・電子書籍貸出サービスのスタート
(普及する電子書籍への対応、全国の図書館の動き)

2. 必要性

背景にある課題を解決し、「第2次図書館ビジョン」の実現をシステム面から支えるため、図書館電算システムの再構築が必要。

3. コンセプト

「知の拠点」として、
市民の生活や活動
に役立つ情報をス
ムーズに提供する。

4. 具体的実施内容

①誰もが簡単にできる図書検索システムの実現

- ・迅速化、ビジュアル化、検索キーワードを増やす
- ・高齢者、障がい者にもやさしい検索画面
(文字の大きさや色の工夫)

②電子書籍貸出システムの導入(新規)

- ・ネットでの予約、貸出、返却

③業務システムの改良

- ・急増するネット予約件数への対処(反応速度、容量)
- ・運営に関する各種データ(統計)の取得

④SAPICAに図書貸出券機能を付加(新規)

- ・SAPICA所持者の希望に応じて機能を付加

5. 実施メリット

①誰でも、読みたい本を容易に探せる。

【利便性の向上】

②(1)新しい情報媒体(電子書籍)が利用できる。

【時代に合ったサービスの享受】

(2) 来館困難者も含め、在宅で(電子)図書館
サービスが受けられる。

【情報入手機会の拡大】

③安心、快適に、いつでもネット予約が利用できる。

【サービスの安定供給】

④カードの一体化で便利になる。

【都市生活の利便性向上】

6. スケジュール

24年度 基本設計

25年度 詳細設計(開発)、移行作業等

26年度 本格稼働